



マルマル

大学図書館は をアピールせよ!

～ わたしたちの「2007年問題」 ～



2007年問題。IT業界などを中心にいわゆる「団塊世代」が大量に定年退職することにより、彼らの持つ技術や知識が継承されないことが危惧されています。それは図書館界においても例外ではありません。古典籍やアジア圏言語資料の目録をとってきたり、百戦錬磨のレファレンスを経験してきたりした先達の世代が、いま図書館から去りつつあります。

その後に残される人たちも、ここ数年とくに増えている他部署への転属により、大学図書館が持つ経験が徐々に失われていっているという現実があります。

今回の大図研オープンカレッジでは、大学図書館に不可欠な「人」の重要性を踏まえ、上記のような状況の中で、プロフェッショナルとしての能力・知識・技術をどのように磨いていくか、それを図書館・館界としてどのように組織的に継承しマネジメントしていくか、そしてその持つ可能性をいかに大学内外にアピールすべきかを考えたいと思います。

図書館経営に深い造詣をお持ちの教員、大学図書館の豊富な現場経験を持つ教員、そして現場で活躍されている図書館員を壇上に、フロア(皆さん!)を交えたパネルディスカッションを中心に開催いたします。

タイトルの^{マルマル}は、アンケートを行い、その結果をディスカッションのお題といたしますので、下記の要領で投稿ください。プロフェッショナルとして自分と自館に何が足りないの、それとも足りてるんだけどアピールが足りていないだけか...、この機会に改めて考え直す機会になれば幸いです。

いつもと少し違うスタンスの今回のDOC、ぜひご参加を!

参加申し込みとアンケートについて

お申し込みは、件名を「参加申し込み」とし、氏名、所属、会員・非会員の別、連絡先アドレス、アンケートのご回答を明記の上、doc-entry@daitoken.comにお送りください。

当日参加できなくてもアンケートには答えたい、という方は、件名を「アンケート」と明記の上、上記アドレスまでお送りください。差し支えなければ、参加申し込みと同じく氏名等をご記入いただければ、参考にさせていただきます。

(当日氏名等を公表することはありません)

アンケート内容

自分や周囲の人たちが大学図書館員として仕事をしていく上で、あなたが感じていることを、以下の3つの項目についてそれぞれお答えください。

- ・ あなた自身に足りないと思うもの(スキル、知識など)はなんですか?
- ・ いま、あなたの図書館に足りないと思うものはなんですか?
- ・ いま、図書館界に足りないと思うものはなんですか?

日時 2007年6月30日(土) 14:00~17:00

場所 鶴見大学会館

<http://www.tsurumi-u.ac.jp/about/institution/hall.html>

講師 山崎久道氏(中央大学文学部教授)

小林康隆氏(聖徳大学日本文化学科准教授)

パネルディスカッション

山崎久道氏

小林康隆氏

鈴木正紀氏(文教大学越谷図書館)

亀田俊一氏(和光大学附属梅根記念図書館; コーディネーター)

プラス、参加者のみなさん

会費 1,000円(大図研会員・学生) 1,500円(非会員)

第16回大図研オープンカレッジ

<http://www.daitoken.com/>